ninoyu satoshi
発行所:自由民主党京都府参議院選挙区第三支部
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ハウスドゥ四条ビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310
発行人:二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館921号室
TEL.03-6550-0921 FAX.03-6551-0921

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。
題字:栢木寛照

えとす

平成28年8・9月合併号
No.287

京都の智恵を日本に活かす。
二ノ湯智ホームページ http://www.ninoyusatoshi.com

内政、外交に東奔西走の安倍首相
28兆円の補正予算で経済対策

諸外国との協調で平和の構築

内政に外交に安倍首相は、席を温めるいとまもなく東奔西走の毎日である。内にあっては、景気回復が最優先課題である。新アベノミクスの効果を一日も早く出すために、政府は9月26日に召集される臨時国会で、総額28兆円を上回る補正予算案を提出、10月上旬の成立を図りたい意向である。さらに、TPP協定の承認、関連法案の成立も重要である。高齢化、人口減少社会に入った日本、大幅な内需拡大は期待できない状況である。TPPは縮小する日本経済拡大のために、ぜひ必要である。外交面では、北朝鮮の核ミサイルによる脅威の増大、尖閣をめぐる中国とのせめぎあい、ロシアとの北方領土返還交渉など、課題は山積している。どれも一筋縄ではいかない難問題ばかりである。世界は冷戦が終了したとはいえ、アメリカの相対的な地位の低下、強力な中国の誕生、新興国の台頭など、歴史の転換点にある。与党が衆参両院で安定過半数を持つ今、日本の政治は、比較的安定している。世界秩序の維持のため、安倍首相の強力なリーダーシップが求められている。

9月7日、ラオスのビエンチャンで開催された
アセアン+(日中韓)首脳会議に出席した安倍首相
(出典:首相官邸ホームページ)

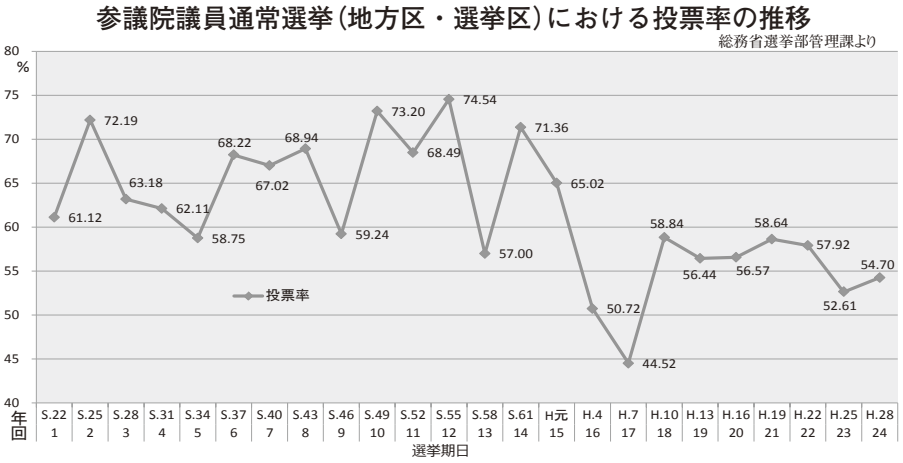
恒心

▼[その手は桑名の焼き蛤]の言葉で知られる三重県桑名市の蛤は、江戸時代から今日まで、桑名の名産として多くの人達に愛されている。蛤は分厚い肉で、焼いて良し、鍋も美味しく、蛤の出汁は癖がなく、最後の雑炊は絶品である。▼桑名の海は、揖斐川、長良川、木曾川の木曾三川河口にあり、河川の上流から、肥沃(ひよく)な土が運ばれて、蛤に適した海になったようである。蛤は非常に大きく、立派である。▼かつて桑名の浜は、潮干狩りの名所であった。小学校時代を桑名の隣、いなべ市で過ごした私は、学校の遠足で桑名に潮干狩りに行った経験がある。▼漁船で沖に出て、潮が引き、海底が見えてくると、熊手と網袋を持って、海に入った。熊手を使う事もなく、足で蛤を見つけることができるほど、浜一面に蛤があった。▼昭和30年初頭から、日本の経済が復興期に入り、三重県四日市の海岸は、石油コンビナートの基地になった。工場からの排水で、きれいな海がたちまち汚い海になってしまった。隣接の桑名の海も影響を受け、汚染され、蛤は一時、絶滅の危機を迎えた。▼その後、環境保全が政治の大きな課題となって、工場からの汚染水のたれ流しもなくなり、徐々に桑名の海もきれいになってきた。魚業組合の努力も実り、名産の蛤も少しずつ回復してきた。今は料理屋で出される蛤は、全て地物である。▼全国自治体で地方創生が叫ばれる中、観光振興は大きな柱である。観光の楽しみの一つは、その土地の美味しい物を食べることである。桑名の料理屋には、1年先まで予約で一杯という店もある。食材の豊富な丹後の自治体も桑名市を参考にして、地方創生を推進してほしい。

「参議院選挙を終えて考えること」

低い投票率に終わった参議院選挙
嘆かわしい若者の政治への無関心

国政、地方選挙を問わず、年々投票率が低くなり、投票率の向上は、各選挙管理委員会の重要な課題となっている。今年の夏の参議院選挙から、18才以上に投票権が与えられることになった。新しい有権者の投票率を上げるために、各選挙管理委員会、高校、大学などでは新しい有権者を対象に主権者教育に熱心に取り組んだ。その結果、18、19才の投票率は20才以上の有権者と比較して、かなり高く、主権者教育の一定の成果があった。それでも全体の投票率は、54・70％であった。国の運命を左右する国権の最高機関の国会議員を選ぶ選挙なのに、国民の半分近くが投票権を放棄するとは全く理解に苦しむ。低投票率は現在の生活に満足しているのか、それとも、誰が政治家になっても、どの政党が政権を担当しても、自分たちの生活に関係がないと思っているのだろうか。7年前に誕生した民主党政権の能力のなさ、迷走ぶりで、いかに政治が重要であるか、良く勉強した筈である。それでいて、この投票率の低さは、まことに残念なことである。戦後に執行された参議院選挙の投票率は次の通りであるが、昭和55年の選挙から、約20％ほどの落ち込みである。



注1　昭和49年は、投票時間が1時間延長され、午後7時までであった。
注2　昭和55年及び昭和61年は衆参同日選挙であった。
注3　昭和58年より、拘束名簿式比例代表制が導入された。
注4　平成10年より、投票時間が2時間延長になり、午後8時までとなった。
注5　平成13年に、比例代表制が非拘束名簿式に変更された。
注6　平成16年より、期日前投票制度が導入された。

龍大に初の大学投票所を設置
非常に少ない大学生の投票数

京都市選挙管理委員会では、龍谷大学と連携し、7月7、8日の2日間、大学生の投票率を高めるため、龍大構内に投票所を設置した。投票出来る人は、伏見区民のみである。体の不自由な高齢者ならともかく、若い学生が、自らの住所地にある投票所に足を運ぶことなど簡単なことである。従ってそこまで大学生にサービスを提供する必要があるのか、多少、異論のあるところである。龍谷大学生で伏見区に住民票がある学生は、かなりの数と思われるが、投票した学生は、僅か40人であった。実に寂しい限りである。なお投票所設置に要する費用は、京都市は約50万円、大学は選挙管理人、電話機等を負担した。大学、選挙管理委員会による大学生の投票率向上の取り組みは大した効果を発揮しなかった。

投票結果
(京都市選管による)

月日	学生数	住民数	合計(人)
7月7日	16	187	203
7月8日	24	197	221
合計(人)	40 (9.4%)	384	424

益々増える期日前投票
問われる政見放送、選挙公報等

従来、投票日に行けない場合、印鑑、投票用紙を持参し、役所で理由を述べて、不在者投票をしなければならなかった。そのため、多くの人は、億劫がって、足が役所に向かなかった。選挙期日前の投票手続きの簡素化をはかり、選挙人が投票しやすい環境を整えるために、平成15年12月1日から期日前投票制度が施行された。投票が簡単にしやすくなったことと、その為に、各陣営が早く期日前投票に行ってほしいと督促するために、期日前投票が急速に増えて来た。期日前投票が増えて問題点も指摘されている。政見放送がされる前、選挙葉書が届く前、選挙公報が配布される前に投票を済ませる人がかなりある。有権者が候補者の政策を知る前に投票を済ませてしまう。事前に候補者の政策・抱負をどう知らせるのかが課題となる。その上政見放送、選挙葉書、選挙公報に多くの費用が掛かる。これらも見直す必要があるようだ。

平成15年以降の参議院選挙期日前投票の推移

	期日前投票所数	選挙当日有権者数(人)	投票者数(全体)(人)	期日前投票者数(人)	期日前投票率(%)
		A	B	C	C/B
H16.7.11	4,486	102,507,526	57,990,757	7,171,390	12.4
H19.7.29	4,519	103,710,035	60,813,926	10,798,737	17.8
H22.7.11	4,642	104,029,135	60,255,670	12,085,636	20.1
H25.7.21	4,801	104,152,590	54,798,883	12,949,173	23.6
H28.7.10	5,299	106,202,873	58,094,005	15,986,898	27.5

効果があったインターネット活用
若い有権者の関心を惹く

公職選挙法は選挙運動に関して色々と規制が多く、もっと自由な選挙運動にするべきだと言う意見も多い。今日、あらゆる分野でインターネットが活用されている。選挙でもインターネットを活用して、もっと身近に有権者に訴えることができるようにと、平成25年5月26日から法律が施行された。今回の参議院選挙から、投票権が18才以上となったことを踏まえ、二ノ湯陣営ではこれまで投票率の低かった若年層対策として、インターネットを活用した選挙運動を展開した。インターネットでの活動は、目に見える成果は測りにくいため、どれだけ実際の投票に反映されたのか検証することは難しい。しかし、比例区で初当選した元ダンスボーカルグループ「SPEED」の今井絵理子候補とのトークセッションでは、配信した写真を100万人以上の人が閲覧し、その内、約10分の1が京都府の人であると推定された。これまで候補者の政策や人柄を知る機会が少なかった有権者に候補者の考え方や素顔を知らせる上でも、一定の効果を得られたのではないか。それを裏付けるように、選挙情勢の世論調査では、二ノ湯候補が18、19才で他の候補を圧倒していた。

自民党府連第67回定期大会
参院選勝利で祝勝ムード

自民党京都府連第67回定期大会が、9月17日、京都市南区の京都テルサで開催された。7月10日に投開票された参議院選挙において、京都選挙区で二ノ湯候補が民進党を押さえ、トップ当選を果たした。比例区でも、京都府連所属の2名が当選し、この日の大会は、参院選勝利の祝賀会の様相であった。大会は先ず、府連会長の西田昌司参議院議員が「今度の戦いは、二ノ湯候補が皆様の御蔭で、トップの成績で勝つことが出来ました。しかし京都では、民進党がなかなか根強い選挙地盤を持っている。今回の勝利をバネに、来るべき衆議院選挙では、全ての選挙区で勝たなければならない」と挨拶した。続いて二ノ湯参議院議員は、「国会議員はじめ各級の地方議員、そして党員、党友、推薦団体の皆様の温かいご支援のお陰で最高点で当選出来ました。票の重みを認識し、選挙期間中に約束した政策の実現に地元選出の国会議員と力を合わせ、一生懸命努力を重ねたい」と御礼の挨拶をした。なお今大会は役員改選時期でないために、府連会長は西田昌司参議院議員、幹事長には寺田一博京都市会議員が引き続き務めることになる。

御礼の挨拶をする二ノ湯議員

谷垣前幹事長順調に回復
年内にも政治活動を開始か

7月16日に自転車事故で怪我をした谷垣禎一前自民党幹事長は、頸随損傷の手術も無事に終わり、現在は毎日、機能回復訓練に専念している。事故後、谷垣氏の容態が、家族以外全く分らず、色々な憶測が飛び交っていた。それだけに、地元京都の人は勿論のこと、谷垣氏を囲む政治家も気を揉んでいたし、詳しい情報を欲しいと願っていた。9月12日、谷垣氏を中心とする政策グループ有隣会の研修会が軽井沢で開かれた。その席上では、幹部の人から、谷垣氏の近況が聞かれると思っていたが、谷垣氏の弟である信行氏が谷垣氏のメッセージを持参し、参加者に披露した。幸いにリハビリに励み、順調に回復し、近い将来、政治活動を開始出来ることが分かり、参加者一同、安心した。メッセージの内容は次の通りである。

有隣会の皆様へ

有隣会の皆様、本日の研修会に出席できず申し訳ありません。

7月16日にけがを負いましたが、それ以来皆様には大変ご心配いただきましたこと、心から御礼申し上げます。それと同時にこの間、皆様に多大なご迷惑をおかけしましたことを改めてお詫び申し上げます。

現在、外科的な措置は完全に終了しており、機能回復のためのリハビリに集中して取り組んでおります。少しずつではありますが、毎日確実に効果が上がるのを実感しています。今しばらくはリハビリに専念し、1日も早く仕事に復帰できるよう努力してまいります。

それまで皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、お許しをいただきたく存じます。

長年ご指導をいただいた加藤紘一先生が逝去されたことは誠にさびしい限りです。加藤鮎子先生に大きく育っていただくためにも、残された我々が頑張っていかなくてはと思っております。心からご冥福をお祈りいたします。

平成28年9月12日

衆議院議員　谷垣禎一

自民党 政経文化懇談会のお知らせ

自民党は夏の参議院選挙で、過半数の議席を獲得することができました。京都選挙区においても、皆様のお陰で自民党が民進党を引き離し、トップ当選させて頂きました。自民党は国、地方の政治に責任を持ち、国民の負託に応えてまいります。なにとぞ、今後とも自民党に温かいご支援をお願い申し上げます。恒例の「政経文化懇談会」を今年も開催することになりました。厳しい経済環境の下、誠に恐縮ですが、なにとぞご協力下さいますよう、お願い申し上げます。

◆日時　平成28年11月20日(日)

■午後1時から　時局講演会

講演『文化庁の京都移転について』
松野博一 文部科学大臣

パネルディスカッション
コーディネーター　西田昌司 府連会長
パネリスト　松野博一 文部科学大臣
山田啓二 京都府知事
門川大作 京都市長

■午後2時30分から　懇親パーティー

◆場所　国立京都国際会館(京都市左京区宝ヶ池)

◆会費　3万円

☆お問合せ、お申し込みは二ノ湯さとし事務所まで

TEL075-315-2228　FAX075-315-2310

二ノ湯議員書道展に出品

二ノ湯議員は、8月下旬、奈良県文化会館で開催された「眞龍書道会」の書道展に出品した。今回の書は論語為政にある「七十にして心の欲する所に従って、矩(のり)を踰(こ)えず。」訳は、七十歳。もはや心の思うままにふるまって、しかも道義から外れることがない、こういう境地に至ったのだ。この名言を選択したのは、71才になって、敢えて今年の夏の参議院選挙に挑戦した気持ちを込めたものである。

身辺雑記

一、東京都知事選挙は、事前の予想通り、小池氏が当選した。自民・公明推薦の増田氏、野党統一候補鳥越氏を圧倒した。余りの圧勝ぶりに、小池氏の処分問題は、不問に付された。都議会と小池氏との対決は今後どうなるのか、注目である。

一、8月3日、第3次安倍再改造内閣がスタートした。党役員の交代もあった。安倍首相は谷垣氏の幹事長の続投を希望していたが、谷垣氏の容態が思わしくなく断念した。谷垣氏は見識豊かで、温厚な人柄、一日も早い復帰を望みたい。

一、相次ぐ弾道ミサイル、潜水艦発射弾道ミサイルの発射実験、そして、今度は5回目の核実験を強行した。北朝鮮の核兵器の性能は確実に向上し、最も脅威を受けるのは、射程距離内にある韓国と日本である。

一、リオのオリンピックが終了した。心配されていた運営にも大したトラブルもなく終了した。開催前施設の準備不足、運営の不手際などが日本のマスコミで報道されていた。テレビで観戦する限り、全くそのことを感じなかった。

一、オリンピックの陰に隠れていたせいか、夏の甲子園大会も今一つ盛り上がりに欠けた。都道府県の代表であるが、各チームとも地元出身者が少ないせいか、地元も熱が入らない。高校野球も原点に返らないといけないのではないか。

一、民進党の代表選挙が終わった。予想通り蓮舫氏が選ばれた。選挙期間中、氏の国籍をめぐって色々と話題に上った。台湾籍があるのか無いのか、答えが二転三転した。本人はもっと早く、素直に台湾籍が残っていると言うべきだった。

一、医療費が前年に比べ、3・5%伸び、41・5兆円に膨れ上がった。高齢化が進むと、医療費は益々増大する。新しい特効薬が開発され、それが保険適用され、薬剤費の伸びが著しくなる。医療費抑制のため、健康長寿が大事になってくる。

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は
毎月一回の発行です。
毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、ぜひお申し込み下さい
年間購読料　1,200円
郵便振替口座　01000－4－62360
口座名：みんなで政治を考える会

— お問い合わせ先 —
二ノ湯さとし事務所
電話　075-315-2228

ホームページを開設いたしました
http://www.ninoyusatoshi.com

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会　年会費　1口1万円

入会申込・お問い合わせ先
二ノ湯さとし事務所　☎075-315-2228

「日本真生塾」　例会のお知らせ

第73回　10月31日(月) 18時30分～21時
第74回　11月28日(月) 18時30分～21時

若くして日本的社会主義の理論を構築、急進的変革思想と具体策の提示により昭和の日本政治に大きな衝撃を与えた『北一輝』の実体に迫ります。

講師：岡本幸治 塾長
場所：龍谷大学アバンティ響都ホール
(京都駅八条口前アバンティ9F)

＜お問い合わせは事務局へ＞(担当：奥井寛之)
日本真生塾事務局(二ノ湯事務所内) TEL：075-351-2228／FAX：075-315-2310
詳しくはFacebookページをご覧ください。https://www.facebook.com/nipponshinsei
日本真生塾　塾長　岡本幸治